

第2回佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議(平成28年11月18日開催)

○会議資料No.1-2「佐渡市将来ビジョン(素案)」に関する主なご意見と対応方針

	ご意見		対応方針	原案該当箇所
【第1章 佐渡市将来ビジョンの見直しに当たって】				
1	<p>・新潟県市民経済計算での佐渡市内における産業別生産割合の推移について、「特に建設業及びサービス業の占める割合が増加している。」との表現を「高くなっている。」に変更できないか。平成24年度は災害があったために、一時的に高くなっているが、平成25年度に比べると平成27年度決算では建設業の売上は半分になっている状況である。</p>	⇒	<p>・「割合が増加している。」よりも「割合が高くなっている。」の方が、より分かりやすい表現でありますので、修正いたします。</p>	<p>P4、上段「特に建設業及びサービス業が占める割合が高くなっている。なお、建設業の割合が高い状況については、合併特例事業の増加に伴う、一時的なものであり、」に修正して記載しました。</p>
【第5章 持続可能な循環型社会の実現に向けた経済活性化戦略】				
1	<p>・中心軸になるコンセプトが弱いと感じる。トキをシンボルとすることができる唯一の地域として、地域資源を如何に活用するかという観点からも環境という中心コンセプトが必要ではないか。</p>	⇒	<p>・産業の振興の項目中で「トキや世界農業遺産認定、棚田等、佐渡の豊かな自然・環境を活用したブランド化」「トキをはじめとする生きものが共生する環境づくりに向けた様々な取組による販売ブランド力の向上」など、トキと共生する佐渡の豊かな自然・環境をシンボルとした観点で記載しておりますが、ご指摘いただきましたように、戦略の中心軸とするため、第5章の序文において、記載します。</p>	<p>P36、「第5章序文」において、「本市の重点目標を実現するために、「歴史と文化が薫り 自然と人が共生できる美しい島」を基本コンセプトとして、持続可能な循環型社会の実現に向けた経済活性化戦略を策定する。」と追加記載しました。</p>
2	<p>・高付加価値化の取組について、島内循環の強化策として記載しているが、外貨獲得のための島外販売においてもとても大事なことなので、記載する方向で検討いただきたい。</p>	⇒	<p>・佐渡産品の高付加価値化は、島内外の販売戦略に共通するものでありますので、ご指摘いただきましたように、外貨獲得のための島外販売の取組の一つとして記載します。</p>	<p>P40、中段に「ア 外貨獲得のための島外販売の仕組みづくり」を新規項目として追加記載しました。</p>
3	<p>・島内で資金が循環するシステムづくりでは、エネルギーの自給を目指す必要がある。全面的な自給は困難だが、佐渡という地域でできるということは、林業を含めて活性化につながる可能性があるのでは、エネルギーの自給についても加筆できないか。</p>	⇒	<p>・ご指摘のとおり、エネルギーの自給を目指すことは、環境エコアイランドを標榜する佐渡市にとって、とても重要なことであると考えております。しかしながら、現状としますと具体的な取組がなされていないことから、大学等と連携し、調査研究を進めてまいります。</p>	<p>P41、上段「オ エネルギーの島内循環の仕組みづくり」において、「化石燃料使用低減を推進するとともに、環境に優れた技術を活用したエネルギーの自給について、大学等と連携し、調査研究を進める。」と記載してあります。</p>
4	<p>・未来につながる人材育成と確保について、職場体験は非常に良いものと思うので、この辺りを強化して欲しい。</p>	⇒	<p>・次世代を担う子ども達が職場体験をすることはとても重要であると考えております。これまで以上に、地域産業を学ぶ郷土愛を軸としたキャリア教育の推進を強化してまいります。</p>	<p>P49、中段「ア 多様な次世代教育の仕組みづくり」において、「佐渡学や地域産業を学ぶ郷土愛を軸としたキャリア教育の推進」と記載してあります。</p>
5	<p>・将来ビジョンを市民に広く見せるのであれば、この文言はこの部署の担当であるということが明確に示すことができないか。</p>	⇒	<p>・佐渡市将来ビジョンの見直し策定後、市民の皆様に分かりやすい形の概要版の作成を検討しております。</p>	—

第2回佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議(平成28年11月18日開催)

○会議資料No.1-2「佐渡市将来ビジョン(素案)」に関する主なご意見と対応方針

	ご意見		対応方針	原案該当箇所
6	<p>・養殖について、平成31年度までの期間で現実的に達成するのは無理な気がする。鮮度保持ということで良いのかなと思う。</p>	⇒	<p>・佐渡産水産物のブランド力の強化のため、持続可能な漁業環境に向けた魚場造成や製氷施設などの積極的な活用による鮮度管理を重視してまいります。</p>	<p>P37、中段「ア 持続的な経営の展開」において、「製氷施設や流動氷の積極的な活用による鮮度管理」と記載してあります。</p>
7	<p>・航路が3つあるが、残念ながら2つの航路は不安定な状況にあるため、解決策を国県市が一体となってやっていかねばいけない。</p>	⇒	<p>・市民生活及び産業活動にとって、重要な交通インフラであり、様々な課題の解決に向けて、国県など関係者と連携していくことが重要であると考えております。</p>	<p>P44、中段「(2)佐渡航路の安定と充実」において、「国・県・対岸市・運行事業者が連携する中で、人の往来や物資の輸送手段として課題となっている航路運賃の低廉化を図るとともに、航路の安定運航及び運航体制の充実が不可欠である。」と記載してあります。</p>
8	<p>・交流人口の増、インバウンド対策強化には、島外から来る人のジェットfoil料金や車の航そう料の低廉化が必要</p>	⇒	<p>・ご指摘のとおり交流人口の拡大、インバウンド対策の強化には、航路運賃の低廉化が重要であると考えており、地域社会維持推進交付金(仮称)などの国支援制度を活用して、低廉化を図ってまいります。</p>	<p>P44、中段「(2)佐渡航路の安定と充実」において、「国・県・対岸市・運行事業者が連携する中で、人の往来や物資の輸送手段として課題となっている航路運賃の低廉化を図るとともに、航路の安定運航及び運航体制の充実が不可欠である。」と記載してあります。</p>
9	<p>・産業の振興についての記載はあるが、商工業の振興の部分がボリューム的に見て、少ないように感じる。農林水産業は当然に基幹産業であるが、企業が島の雇用を支えている面も非常に大きいと思うので、起業・第二創業の推進、6次産業化を中心とした高付加価値化の推進にもう少し書き込んでいただくよう検討願いたい。</p>	⇒	<p>・新たに創設される「地域社会維持推進交付金(仮称)」の支援制度を最大限に活用し、市内の雇用の一定の受け皿となっている企業の事業拡大及び若者等の起業の促進を強化し、市民が島で暮らし続けることができるよう産業の振興を図ってまいります。</p>	<p>P39、中段「(2)起業・第二創業等の推進」において、「市内における雇用の受け皿となっている企業の事業拡大を促進し、島内に元気な産業と安定した雇用を創出する。」と追加記載しました。</p>
10	<p>・市内総生産のうち、建設業やサービス業が高い位置にあるため支援が必要であるというような施策の組み方の考え方として書き込んでいただけないか。</p>	⇒	<p>・市内総生産のうち、建設業、サービス業の割合が高い状況であることを踏まえ、予算編成の中で普通建設事業費の確保に努めてまいります。また、サービス業につきましては、産業の振興、観光地域づくりの推進を進める中で、取組を進めてまいります。</p>	<p>建設業につきましては、P45、上段「(4)道路の整備」において、「道路は市民誰もが安全・安心に暮らせる豊かな地域を実現していく上で必要不可欠である」「道路は地域産業・経済への波及効果をもたらす重要な交通インフラである」など、道路整備の重要性を記載してあります。 サービス業につきましては、P40、下段「ウ観光客等に佐渡の物を提供する仕組みづくり」において、「ホテル、観光施設等において佐渡産食材を用いた食事の提供、佐渡産品を島内加工したお土産の提供」と記載してあります。</p>

第2回佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議(平成28年11月18日開催)

○会議資料No.1-2「佐渡市将来ビジョン(素案)」に関する主なご意見と対応方針

	ご意見		対応方針	原案該当箇所
11	<p>・野菜の自給率のアップを農林水産と併せて検討し、施策をJAや普及センターと一緒に取り組めないか。</p>	⇒	<p>・ご指摘のとおり、野菜など園芸作物の自給率アップに向けた施策は必要であると考えております。そこで、園芸生産への施設支援を行い、生産拡大を促し、自給率アップを図りたいと考えております。</p>	<p>P37、中段「ア 持続的な経営の展開」において、「果樹、野菜などの園芸生産への施設支援からの生産拡大」、P38、中段「ウ多様な担い手の確保」において、「施設園芸の強化などにより地場産業を育成」と記載してあります。</p>
12	<p>・「これまであまり活用されてこなかった島内の有形無形の文化財を積極的に活用する。」とあるが、これの具体的なことは何か。</p>	⇒	<p>少なくとも、平成29年度計画しているものとしまして、これまで開催してきましたイベント等の新たな取組としまして、文化財等を絡ませた開催を計画しております。中でも相川地区におきましては、佐渡奉行所を拠点に、これまで島民が主な参加者でありました佐渡民謡等芸能体験を観光とタイアップした形での開催を計画しております。また、京町通りを流す形で開催してきました宵乃舞の終着点を佐渡奉行所として踊り納めを行ったり、相川ひなまつりを佐渡奉行所で開催し、金銀山スイーツやお茶を楽しめる喫茶コーナーの設置を計画しております。この他に、北沢選鉱場跡においてライトアップとあわせて和太鼓コンサートの開催を計画しております。なお、今後におきましても観光とタイアップした文化財の利活用の検討を進めまして取組んでまいります。</p>	—
13	<p>・孫ターンや20代から30代の方が結構多く佐渡に移住しているが、これまでの市の施策について、移住者や観光者の目線で洗い直す必要があると思う。今後の人口減少が予測される中で、移住者や観光者の増加が大きな佐渡の柱になるわけで、具体的なことをもっと強化して記載してどうか。</p>	⇒	<p>・ご指摘のとおり、移住者や観光者の目線に立った施策の組み立てが重要と考えまして、平成29年度「移住サポートセンター」を創設し、これまで異なる担当者が対応してきました空き家や就業の情報提供、市関係部署への繋ぎ、地域住民との橋渡しなど、ワンストップ化を図り、移住希望者の不安を解消し、定住に繋がる支援体制の充実に取り組みますので、この旨を追加記載しました。</p> <p>また、これまでの観光事業者のみによる観光地としての発展を目指すのではなく、1次産業をはじめとした多様な関係者による佐渡版DMOの構築を進める中で、ターゲット別の戦略や他の産業等との連携、体験型観光等により通年観光を推進し、市民が観光を活用した地域づくりに取組み、市民と観光客の双方にとって魅力ある観光地域づくりを進める。</p>	<p>P48、下段「イ 雇用の創出と定住環境の充実」において、「移住サポートセンターを創設し、空き家や就業の情報提供、市関係部署へのつながり、地域住民との橋渡しなど、移住希望者の不安を解消し、定住につながる支援体制を充実する。」と追加記載しました。</p> <p>P41、中段「観光地域づくりの推進」の項目の中で、ターゲット別観光戦略の策定や1次産業をはじめとした他の産業等との連携、観光ガイドの育成、トイレの洋式化、分かりやすい案内看板の設置等でお客目線での受入態勢の充実を図る。」と記載してあります。</p>

第2回佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議(平成28年11月18日開催)

○会議資料No.1-2「佐渡市将来ビジョン(素案)」に関する主なご意見と対応方針

	ご意見		対応方針	原案該当箇所
14	・地域おこし協力隊の第1期生が卒業したが、市としてどのように総括しているのか。他の自治体では、必要な人材の業種を具体的に示したうえで、募集しており、この手法の方が、本当に有益な人材確保が可能である。	⇒	・平成28年12月末時点における佐渡市地域おこし協力隊退任後の定着状況ですが、退任者12人中、定着者10人、82.3%の定着率であり、全国平均59%を上回っている状況であります。しかしながら、現役協力隊の声によりますと、退任後の生活環境の維持等に不安があるとのことから、退任後の起業支援等の取組を進めてまいります。	—
15	・観光に関して、個人旅行者の一番の不满は、昼食を食べるところがないことであり、佐渡の安全・安心な食を食べさせる、佐渡だから食べられる場所を作らないといけない。	⇒	・佐渡を訪れていただく方に佐渡の安全・安心な食を提供することは、佐渡観光を満足していただくために、とても重要なことであると考えております。観光施設等において、佐渡産食材を用いた食事の提供により、観光客の満足度向上を進めるため、佐渡産食材を扱う店舗数の増加に向けた取組を強化してまいります。	P40、下段「ウ観光客等に佐渡の物を提供する仕組みづくり」において、「ホテル、観光施設等において、佐渡産食材を用いた食事の提供、また、佐渡産品を活用し、佐渡で製造されたお土産を充実させることにより、観光客の満足度向上と経済の島内循環を進める。」と記載してあります。
16	・文化庁が示す世界的な観光地の最低4条件である自然、気候、文化、食について、今回示された素案に「食」がどこにも入っていない。これは考えていただきたい。	⇒	・ご指摘の通り、地域食材を用いた魅力ある食の提供は、その観光地を訪れる人の満足度を向上させるものであると考えております。佐渡市におきましては、地産地消の取組を推進しており、観光客への佐渡産食材を活用した食の提供を強化してまいります。また、施策として食材が豊富な冬期旅行商品の造成の中で食の文化を体験できる取組を進めてまいりますので、その旨、追加記載します。	P40、下段「ウ観光客等に佐渡の物を提供する仕組みづくり」において、「ホテル、観光施設等において、佐渡産食材を用いた食事の提供、また、佐渡産品を活用し、佐渡で製造されたお土産を充実させることにより、観光客の満足度向上と経済の島内循環を進める。」と記載してあります。 P41、中段「2観光地域づくり」の序文において、「地域食材を用いた食文化」と追加記載しました。
17	・将来ビジョンを策定するだけでなく、市民みんなが共感できるようにしてほしい。	⇒	・佐渡市将来ビジョンの見直し策定後、市民の皆様に分かりやすい形の概要版の作成を検討しております。	—
18	・市民アンケート集計結果で市民が不満に思っている割合が高い項目として、佐渡航路、航空路、雇用が上位であるが、この中で雇用について、あまり強く打ち出されていないと感じるので、検討願いたい。	⇒	・新たに創設される「地域社会維持推進交付金(仮称)」の支援制度を最大限に活用し、市内の雇用の一定の受け皿となっている企業の事業拡大及び若者等の起業の促進を強化し、市民が島で暮らし続けることができるよう産業の振興を図ってまいります。	P39、中段「(2)起業・第二創業等の推進」において、「市内における雇用の受け皿となっている企業の事業拡大を促進し、島内に元気な産業と安定した雇用を創出する。」と追加記載しました。